

食と観光

立命館大学
食総合研究センター
シンポジウム

観光という事業の中で食は中心的な位置にあり、食を目玉とした観光事業は官民ともに広く行われています。しかし、食を目的とする観光(ガストロノミーツーリズム)に関する学術的研究は、欧米で最近盛んになっているものの、日本ではまだ数少ないのが現状です。そうした状況を踏まえ、本シンポジウムでは観光先進国である香港やスイスの事例と日本の事例とを比較し、ガストロノミーツーリズムの特質や課題についての考察を行います。



- 13:30 **開会挨拶** 朝倉敏夫 立命館大学食マネジメント学部長
- 13:40 「Covid-19パンデミック下の香港における旅行の代替としての食」
Sidney Cheung(張展鴻)氏 香港中文大学 教授
- 14:10 「スイスにおける食と観光の歴史—苦境をいかに乗り越えたか」
森本 慶太氏 関西大学 准教授
- 14:40 「観光資源としての食—芸術の島「香川県・粟島」の事例」 河原 典史 立命館大学 教授
- 15:10 **休憩**
- 15:30 「ホスピタリティの視点からの食と観光—コロナ禍への対策」
姜聖淑(カン・ソンスク)氏 帝塚山大学 教授
- 16:00 「滋賀県における食と観光」 西川忠雄氏 滋賀庁農政水産部 部長
- 16:30 **休憩**
- 16:40 パネルディスカッション「withコロナ時代の食と観光について」
- 17:20 **まとめと閉会挨拶** 南直人 立命館大学食総合研究センター長

■ 日時

2020 | 12 | 11 金

13:30~17:30
(受付開始13:00)

■ 会場

オンライン (Zoom)
※定員500名

■ 参加費

無料

■ 参加お申し込み(当日参加可)

※参加お申し込み後、Zoomよりご招待メールが届きます。メールが届かない場合はお問い合わせください。

立命館 食総合研究センター

検索

または

<https://bit.ly/shoku201211>



主催 立命館大学食総合研究センター 後援 立命館大学 食マネジメント学部

<お問合せ先> 立命館大学食総合研究センター事務局 [✉ syoku@gst.ritsume.ac.jp](mailto:syoku@gst.ritsume.ac.jp)

RITSUMEIKAN
UNIVERSITY